



2021年1月5日

各 位

会社名 日清食品ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長・CEO 安藤 宏基
(コード番号 2897 東証第1部)
問合せ先 取締役・CFO 兼 常務執行役員 横山 之雄
電 話 (03)3205-5111 (代表)

2021年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年5月11日に公表した2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想（A）	百万円 486,000	百万円 43,500	百万円 30,500	円 銭 292.79
今回修正予想（B）	500,000	53,000	37,500	359.98
増減額（B-A）	14,000	9,500	7,000	
増減率（%）	2.9%	21.8%	23.0%	
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	468,879	41,252	29,316	281.45

(2) 理由

当社事業の基本的な最需要期である第3四半期の実績見通しがたったこと、ならびに株式会社湖池屋（以下、「湖池屋」）の連結子会社化が当社連結業績に与える影響がおおよそ定まったことから、新型コロナウイルス（以下、「COVID-19」）の感染拡大に伴う影響は依然として不透明な状況が続きますが、現時点における見通しを可能な限り迅速に開示することを重視し、上述のとおり通期連結業績予想を修正いたしました。

2020年11月20日付リリース「株式会社湖池屋の株式追加取得による連結子会社化に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、当社は持分法適用会社であった湖池屋の株式を10.57%追加取得し、連結子会社化しました。同社の連結子会社化に伴い、持分法評価額と支配獲得時の投資勘定時価評価額との差額を段階取得に係る差益として第3四半期に計上する見込みです。

売上収益は、COVID-19 感染拡大に伴う巣籠り需要の増加で販売が拡大したことや、湖池屋を連結子会社化した影響等により前回予想を上回る見込みです。利益面では、売上増に伴う利益の増加に加えて湖池屋の段階取得に係る差益を計上することにより増益となる見込みです。

※ 上記の業績予想に関する記述は、当社および当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、今後のCOVID-19の動向及び当社への影響を合理的に見通すことは依然として困難であり、継続して注視し、再度業績予想の見直しが必要となった場合は速やかに開示いたします。

以上